



ちくらだより

発行：南房総市千倉協働推進室 企画編集：千倉担当地域づくり支援員
〒295-8601 南房総市千倉町瀬戸2294番地（南房総市千倉支所内）
TEL：0470-40-0540 FAX：40-1013
メールアドレス：chikura@royal.ocn.ne.jp

平成23年2月
第7号

千倉地域づくり協議会準備委員会は、4つの班に分かれ、今後の活動方針等について話し合っています。

きずなの会

活動テーマを話し合うにあたり、「地域づくりに何を求めて参加しようと思ったか」について意見交換を行いました。

「世の中は、個人主義になり、思いやりが薄れています。地域社会も崩壊しているように感じています。この様な状況の中で、何かできることがあれば手伝いたいという思いでちくらの地域づくりを考える会に参加しました。

物が豊富にあることと心の豊かさは必ずしも同じではありません。文化と誇りがあれば、豊かな暮らしができると思います。日本人としてのアイデンティティを認識することは大切です。地域づくり協議会で、人の心を育て、人づくりを行い、同じ思いをしている仲間を集め、組織作りを目指したい。世代や団体間の交流を行い、生き活きと暮らせる対策を進めていきたいと思えます。」

豊山海（ほうさんかい）

1/12の会議で「地域調査をしよう！」というところまで話が進み、1/27日の会議では、「具体的にどんなことを」また「時期はいつから始めるか」ということが話し合われました。

◎どんな項目を調査するのか？
参加者で、「どんなことを調べたいのか」についてアイデアを出し合いました。

- ①千倉の歴史 ②神社仏閣 ③民話 ④名所・旧跡・文化財 ⑤地域の物知り、生き字引の人の話を聞く ⑥田畑の現況 ⑦既存の活動団体 ⑧彫刻家・後藤義光 ⑨おすすめビューポイント（海・水平線・富士山） ⑩パワースポット ⑪食べ歩きマップ ⑫祭礼の由来と日程…など

千倉港・海の里づくりの会

1. 南房総市農林水産課担当職員を講師に招き、漁港勉強会を開催し、漁港の定義及び千倉漁港について管理者や利用についての講義を受けました。

2. 千倉漁港周辺の活用事業計画について、具体的な取り組みが話し合われ、以下の意見が出ました。

- ①現在行われているイベントに協賛する。
- ②漁港周辺の美化活動を行う。
- ③海洋行事カレンダーを作る。
- ④地元漁師の話を聞く会を開く。
- ⑤ひらきを食べたり、作る「ひらきの日」を決める。
- ⑥釣り教室の開催

高家学ぼう会

1. 古式料理をより魅力的なものにするために、どぶろく特区の申請をしたらどうか、との案が出ていたので、南房総市企画政策課担当職員を講師に招き、特区申請について講義を受けました。

2. 2月12日、13日の梅見会に協力することとしました。

- 3. 高家の歴史を学び、PRしていくことについて以下の意見が出ました。
- ①高家の焼印を押したオリジナルな菓子を作る。
- ②包丁式の人形を作成する。
- ③包丁供養を行う。

千倉地域づくり協議会設立準備状況について

千倉地域づくり協議会設立準備委員会が、2月9日に開催され、協議会設立に向けて、規約が話し合われました。特に、名称、目標、スローガンは、身近な団体として親しまれ、参加しやすく、千倉にふさわしいものになるように、各班でも話し合うこととし、再度話し合うことになりました。

第6号のイベントコーナーでお知らせしました稲荷神社初午（平館区）の文面中「亜紀の豊穡」は、「秋の豊穡」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

美化活動・植栽活動の紹介



海岸通りの植栽活動

美しいふるさとづくりの会では、2月9日に瀬戸、浜の郷の海岸通り沿いの花壇に「ガザニア」を植栽しました。

時折小雨の降る中でしたが、80名の参加がありました。

テレビ放映のお知らせ

梅見会「包丁式」

放送日時 3月5日（土）
午前9時30分～9時55分

番組 テレビ朝日「食彩の王国」

放送内容 菜の花編
ナレーション：薬師丸ひろ子

去る2月13日高家神社境内で行われた梅見会の包丁式の様子がテレビ放映されます。ぜひ、ご覧下さい。

食彩の王国のテーマ

「食材に流れる時間をひもとく！！」

ひとつの食材に秘められた人類と食に関わる文化の歴史。あるいは、ひとつの食材が生み出されるための手間とヒマ。そして、食べる側が、ひとつの食材を手に入れる（つまりは出会う）ための喜びの総体。この番組では、そうした「食材」の中に流れる時間を語り映像化します。

（食彩の王国 HPより）

千倉の文化財紹介

千倉が生んだ名工・後藤利兵衛橋義光と鴨川市の生んだ武志伊八郎（波の伊八）の千倉にある作品を逐次紹介いたします。

今回は、円蔵院の後藤義光と武志伊八郎の作品です。

◎後藤利兵衛橋義光（本名 山口若松）

文化12年（1815）現南房総市千倉町北朝夷に大工の子として生まれ、明治35年(1902)88歳で没する。墓は、北朝夷西養寺にある。

22歳の時、日本橋通りの彫刻師後藤三次郎恒俊の弟子となり業を修める。幕末より明治にかけて安房地方の寺社の欄間をはじめ向拝その他神輿、屋台等数々の彫刻を施している。

初代後藤義光の作品

円蔵院・・・南房総市千倉町北朝夷



代々住職墓地



供養塔



本堂扁額



経蔵



欄間 天女と竜



欄間 子連れ獅子

◎武志伊八郎（波の伊八）

宝暦元年（1751）安房の国長狭郡下打墨村に生まれ、文政7年（1824）74歳で没する。伊八は、下打墨村で代々名主を務めた武志家の5代目として生まれたといわれている。10歳の時から彫刻を始め、躍動感と立体感溢れる横波を初めて彫り、以来作風を確立した。

初代伊八の作品

円蔵院

厨子の須弥壇の波



千倉ウォーキングコースの紹介

花畑の中を歩き、春を感じてみませんか。

今回、潮風王国から七浦地区の花畑の中を歩く、「露地花の里コース(約8km)」を紹介いたします。看板が整備され、とてもわかりやすいコースです。新たな発見をお楽しみください。



潮風王国

千倉大橋

白間津お花畑

海雲寺



日枝神社 後藤義光彫刻

円正寺

観音堂

大聖院

長尾神社

3代目

後藤義光の彫刻

平磯お花畑



高塚不動尊

高皇産霊神社



観養院

長性寺

照明院

波の伊八の欄間(きりん)

ちょっといい話



瀬戸の道路沿いで大きな袋を持ちゴミ拾いをしている青年の集団に出会った。

「何やってるの?」と声をかけると上智大学硬式野球部メンバー35名だった。

代表の土佐一成さんの話によると、上智大学硬式野球部は、2/4~10まで瀬戸の矢原荘で合宿を行い、千倉総合運動公園で練習に励んだ。この間、千倉の皆さんに大変お世話になった。

「何か恩返しができないか」とメンバーで相談した結果、

「瀬戸地区の道路沿いのゴミ拾いをしよう!」ということになり、2/7に実施した。

「来年も合宿中にゴミ拾いをします。」と、元気よく約束してくれました。

**千倉をきれいにしてくれて、
ありがとう!!**

